

# 診察担当表

対象期間：2023年7月1日～31日  
 ※予定は変更となる場合もございます。ご不明な点は、総合受付または外来受付にお問い合わせください

## はるひ呼吸器病院 外来診察担当表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 外来診察時間 9:00～12:00 (受付 8:20～11:30) (新患受付 8:20～11:00)	第1 診察室	小橋	齊藤	小橋	齊藤	小橋	齊藤
	第2 診察室	藤部	櫻井	米田 【予約制】	櫻井	直海	小橋
	第3 診察室	加藤	小佐野	倉部	佐々木	小佐野	直海
	第4 診察室	佐々木	岩村	-	岩村	岩村	-
	第5 診察室	直海	高橋 【急・急2】	-	-	-	-
セカンドオピニオン外来		午後（日時要相談）齊藤（呼吸器内科）※予約制					

※はるひ呼吸器病院では、救急対応を行っております。 休診日：日曜・祝日  
 急な発熱・喘息発作等の内科的疾患は、24時間対応させていただきます。

## 須ヶ口クリニック 外来診察担当表

外来診察時間		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:00～12:00 (受付 8:30～11:30) (新患受付 8:30～11:00)		米田	米田	齊藤	米田	休診	休診
夕方 17:30～18:30 (受付・新患受付 17:30～18:00)		齊藤	齊藤	齊藤	齊藤 【急診終了18:00】	休診	

外来休診のお知らせ ● 7月10日（月） 須ヶ口クリニック 夕診 休診  
 ● 7月27日（木） はるひ呼吸器病院 呼吸器内科 櫻井 休診

最新の休診情報はこちらからご確認ください



## 無料送迎車

平日（土日、祝日除く）に「はるひ呼吸器病院」の白のワゴン車で無料送迎を行っています。

西春駅 西口 発	はるひ呼吸器病院 発
はるひ呼吸器病院 8:20 発	西春駅 西口 9:40 発
9:20 発	10:05 発
9:50 発	10:30 発
10:15 発	10:55 発
10:40 発	12:05 発
11:05 発	

須ヶ口駅 南口 発 (須ヶ口クリニック 経由)	はるひ呼吸器病院 発
はるひ呼吸器病院 8:47 (8:50) 発	須ヶ口駅・須ヶ口クリニック 11:25 発

( ) 内は須ヶ口クリニック出発時刻

※交通事情により、発着の遅延、乗降場所の変更等がある場合があります。  
 ※やむをえず、予告なく運休になる場合がありますのでご了承ください。

送迎車 乗り場  
 はるひ呼吸器病院 前：正面玄関 売店前タクシー乗り場  
 須ヶ口クリニック 前：正面 敷地内駐車場

西春駅：名鉄西春駅 西口 ローター内  
 須ヶ口駅：名鉄須ヶ口駅 南側 ローター内

## 面会時間

全日	2A・3A病棟	13:30～16:00
	3B病棟【予約制】	15:00～16:30

【予約方法】  
 電話・総合受付にて承ります。  
 下記のお時間にお問合せください。  
 (平日 8:30～17:00 土曜 8:30～12:00)  
 ※1患者さまにつき、1日1家族2名まで30分以内となります。

医療法人清須呼吸器疾患研究会

はるひ呼吸器病院 〒452-0962 愛知県清須市春日流8番地1  
 TEL: 052-400-7111 FAX: 052-400-7133

須ヶ口クリニック 〒452-0905 愛知県清須市須ヶ口2332番地2  
 TEL: 052-400-5281 FAX: 052-400-7097

Facebook ページは  
 こちらから>>>

“いいね！”お待ちしております♪

発行日 / 2023年6月27日 発行 / 医療法人清須呼吸器疾患研究会



医療法人 清須呼吸器疾患研究会 広報誌

# 清須の息吹

K I Y O S U N O I B U K I

2023年

7月号  
 Vol.85



撮影地：長野県 上高地

## contents

### 特集 第2回 気管支喘息

- 病院救急車を導入しました
- 今月の一品「きゅうりと鶏ササミのさっぱり和え」

前月号では『気管支喘息』とはどんな病気なのか？どのような症状があるのか？についてお話ししました。今月号では喘息と診断するために必要な検査・喘息と診断された際の治療法についてお話しします。

喘息の検査

《呼吸機能の検査》

- 肺機能検査  
鼻から空気が漏れないようにクリップでつまみ、マウスピースをくわえて、検査技師の指示に従って息を吸ったり吐いたりします。しんどいとおっしゃる方も多ですがとても大切な検査です。以下の4つの項目を調べることで呼吸機能を検査します。  
①1秒率（思い切り息を吐いたときの空気量のうち、最初の1秒間に吐き出された量の割合）が70%未満でないか。  
②フローボリューム曲線で末梢気道狭窄が見られないか。  
③気道可逆性試験  
気道を広げるお薬の吸入前後で肺機能検査を行い、薬の効果があるか。この検査で息が吐きにくそうなことを確認し気管支拡張薬（β2刺激薬）を吸入して改善する場合には、気管支喘息と考えられます。但し、繰り返し発作を起こしている、気管支粘膜が分厚くなってしまっているような人では、気管支拡張薬を吸入しても十分改善しません。  
④気道過敏性試験  
気管支喘息発作を起こさせるヒスタミンという薬剤を段階的に濃くしていき、一秒量の悪化を見ることにより、気管支がどれくらい敏感になっているかを判断します。気管支喘息の方は、アレルギー性の気管支炎で気管支が過敏になっているため、健康な方よりも薄いヒスタミン濃度で一秒量が20%以上低下します。

《その他の検査》

- 血液検査  
血液検査（RAST 値）で、あるアレルギーに対して反応するIgE抗体を、どのくらいもっているか調べます。
- 呼気NO（一酸化窒素）濃度検査  
吐く息中のNO値は気管支の好酸球性の炎症を反映しているため、気道粘膜のアレルギー性の炎症があるかどうか分かれます。
- 喀痰検査  
痰の中に増加する好酸球や気管支上皮細胞を調べることで、気道の炎症の程度を知ることができます。
- 胸部X線 CT検査  
胸部X線写真、胸部CTなどの検査で、喘息と同じような症状を持つ他の呼吸器疾患との見分けや、肺炎などの合併症を調べます。



治療法とおくすり

- 発作時の治療  
短期作用型β2刺激薬（SABA）の吸入、ステロイドの全身投与、アミノフィリン点滴を用います。抗IL-5Ra抗体薬、気管支熱形成術などの治療を行います。
- 長期管理（非発作時の治療）  
治療ステップに応じて段階的に薬物療法を行っていきます。吸入ステロイド薬が基本となり、抗ロイコトリエン受容体拮抗薬を内服、長時間作用型β2刺激薬（LABA）、長時間作用型抗コリン薬（LAMA）、抗IL-5抗体薬、抗IL-5Ra抗体薬、気管支熱形成術などの治療を行います。

日々のケアのポイント

セルフコントロール

喘息はセルフコントロールが大切です。日々のセルフコントロールが行えるようになるために、喘息の知識、アレルギーの除去（掃除）、吸入薬の正しい使用、発作時の対処方法、ピークフローの測定、喘息日誌への記載、日常生活上の注意などを理解するなど正しい知識を持ちましょう。

ステロイド薬の使用

現在の喘息治療における最も効果的な抗炎症薬となります。吸入ステロイド薬は長期的な吸入が必要ですが、全身性の副作用は少ないです。気管支の炎症をおさえ、発作を予防するために、毎日吸入しなければなりません。疎かにせずに継続していくことが大切です。

進行の防止

発作を繰り返したり、発作がないからといって治療を自己中断することで気管支の慢性的な炎症によって気道壁が厚く硬くなり、気管支の内腔が狭くなります。これを『リモデリング』といいます。リモデリングを起こした気道は、不完全で不可逆的（元に戻すことができない）な修復が行われるため、気道の可逆性が低下し過敏性が高くなります。治療に対する反応性が下がるため重症化を招きやすく喘息の難治化につながります。

7月18日（火）より後期高齢者医療健診が始まります！

《健康診断》  
 ■実施日 月～水・金曜 ■電話 052-400-7111  
 ■受付時間 13:00～15:00 ■電話受付時間 13:00～17:00  
 総合窓口・電話にてお申込みください。  
 ※清須市・北名古屋・豊山町の方は定期受診と一緒に受診が可能です。



病院救急車を導入しました！！



今後も救急医療提供体制の充実を図るとともに、地域の医療提供にさらなる貢献ができるよう体制の強化を行っていきます。



今月の一品

きゅうりと鶏ササミのさっぱり和え

- 材料 1人分
- きゅうり 1本
  - 塩 ひとつまみ
  - ササミ 1本
  - 酒 大さじ1
  - ★酢 小さじ1
  - ★しょうゆ 小さじ1
  - ★砂糖 小さじ1/2
  - ★ごま油 少々
  - いりごま 少々
  - トマト [添え]

作り方

- ① 耐熱皿にササミをのせ、酒を振ってレンジで2分ほど加熱した後、筋を取り除き荒目に裂く
- ② きゅうりは端を切り落とし、塩を振って板ずりにし数分置いた後、縦半分斜切りにする
- ③ ボールに①、②を合わせ調味料★を加えてよく混ぜる
- ④ 皿に盛り付け、上からごまを振る

豆知識

きゅうりは淡色野菜ですが、表皮のグリーンにはβ-カロテンが含まれています。β-カロテンには抗発ガン作用や免疫賦活作用、その他にも体内でビタミンAに変換され、髪の毛、目、粘膜や皮膚の健康を保つ働き、喉や肺など呼吸器系統を守る働きがあるといわれています。カリウムをたくさん含んでいるので、ナトリウム（塩分）を排泄する役割があり、高血圧に効果があります。また、利尿作用もあるので、体内の水分量を調節し、むくみの解消にも効果的です。きゅうりには身体を冷やす働きがあるといわれます。暑い夏が旬だけに、熱くほてった身体を冷ますのに役立ちます。

